

編集後記

今月から、大多和先生の「夢の日々」が始まりました。園児が二人しかいないクラスでは、どんな保育が展開したのでしょうか。

* *

九月に入り、一年保育の年長のLが持ち帰った「紙芝居」を見て、私は驚きました。

夏休み前に、「S君が紙芝居を作っているよ。ぼくも作りたいな」と言うのは聞いていました。でも、私にとっての紙芝居作りとは、お話を作る、それを数枚の絵にする、そのお話を文字で書く、それに加えてさらに、そのお話は見せる絵の一枚前の絵の裏に書くという複雑さもありました。

(A)

るというものです。私は文字を書くことを楽しみ始めたばかりのLには

それらの過程をこなして作り上げるのは無理だと思つていました。

ところが、Lの初めて作った紙芝

居は、一枚の紙の表に絵が、その紙

の裏にそのお話を紙面いっぱいに一

または二文で書いてある、それが数枚あるという単純なものでした。や

がて、その話にも続編ができました。そのシリーズ③では、表の絵を

みせながら裏のお話を読むことがで

きるものになっていました。できあ

がつた作品で友達や先生と遊んでみ

て自分のものと市販品の違いに気づいたのでしょうか。

五歳児のLにも紙芝居を作ること

ができるのは、彼が自分の力でやりたいことをやっていったからだと思つました。

幼児の教育

第九十六巻 第九号
(一九九七年九月号)

定価四六〇円 (本体四三八円)

発行 平成九年九月一日

編集兼发行人 田代和美
発行所 日本幼稚園協会

〒112 東京都文京区大塚二一一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社
〒108 東京都港区三田五ー一二一

発売所 株式会社 フレーベル館
〒113 東京都文京区本駒込

六一一四一九
☎〇三一五三九五一六六一三(営業)
☎〇三一五三九五一六六〇四(編集
振替 〇〇一九〇一二一九六四〇

☆ 本誌ご購読のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。